

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計			事務事業分類		A 一般事務事業
事務事業名	エイズ予防対策			事業番号	011-230
担当部署名	健康福祉	局	健康部 保健所	部	感染症対策 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性		—	
		寄与するKPI	有・無	指標名		—	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール		ターゲット	—
			無	取組		—	
		寄与するKPI	有・無	指標名		—	
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画						
3	事業開始年度		昭和 61 年度		点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	堺市
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	全堺市民 826,447人 (R2年10月1日国勢調査結果速報値より)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	市民に対してHIV／エイズの正しい知識を普及啓発することで、H I V感染のまん延を防止し、患者に対する差別や偏見をなくす。また、H I V検査・相談の機会を提供することにより、陽性者の早期発見、早期治療につなげるとともに、更なる感染の拡大を防止することを目的とする。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> ○検査・相談体制 <ul style="list-style-type: none"> ・通常検査 各保健センターにて月1回実施 ・夜間検査 サンスクエア堺にて奇数月1回、6月の性感染症予防月間及び12月の世界エイズデーに合わせて各1回 実施 (保健センター輪番制) ・平日即日検査 堺市保健医療センターにて偶数月1回実施 ○知識の普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・性感染症予防月間および世界エイズデーに関するパネル展示等による予防啓発を実施 ・啓発の一部は、大阪府及び保健所設置8市 (大阪市・高槻市・東大阪市・豊中市・枚方市・八尾市・寝屋川市・堺市) で組織されるエイズ予防週間実行委員会にて共同実施
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	エイズ予防週間実行委員会
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	点検年度
11 「いきなりエイズ」の報告件数	人	目標値	0	0	0	0
		実績値	3	3		
		達成率	—	—		
当該指標を選定した理由		HIV感染が判明した時点でエイズを発症している状態 (いわゆる「いきなりエイズ」) は、感染機会があってから長く検査を受ける機会がなかったことを指すため、当該件数の減少が早期発見・早期治療できているかの指標として設定。				
目標値の設定根拠・算出方法		全ての症例について早期発見・早期治療を目指すため、「いきなりエイズ」ゼロを目標とした。				
12 HIV抗体検査受検者数	人		実績		目標	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
		目標値	1,168	989	800	
		実績値	989	598		
	達成率	85%	60%			
当該指標を選定した理由		陽性者の早期発見・早期治療のためには、検査・相談の機会確保が重要であるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		令和2年度中の緊急事態宣言発令等の影響を鑑み、実績を参考に目標値に設定。				

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	エイズ予防対策	事業番号	011-230
-------	---------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
13 事業費 (a)	5,046	3,423	5,610	1,806	3,234
財源内訳	国支出金	1,743	1,320	2,097	723
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	3,303	2,103	3,513	1,083	1,820
14 人件費 (b)	8,200	8,100	8,200	8,200	8,200
15 年間経費(c)=(a)+(b)	13,246	11,523	13,810	10,006	11,434

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源	
								R2
16 事業費内訳	検査用試薬・医療材料等消耗品費	R2	決算 1,314	836	検査手数料	R2	決算 18	9
		R3	予算 1,550	775		R3	予算 90	45
	大阪府エイズ予防週間実施負担金	R2	決算 112	57	研修会等参加負担金	R2	決算 0	0
		R3	予算 112	56		R3	予算 50	50
	医師報酬	R2	決算 140	70	研修会等参加旅費	R2	決算 0	0
		R3	予算 415	207		R3	予算 81	81
	HIV検査会場借り上げ料	R2	決算 60	30	即日HIV抗体検査及び相談業務	R2	決算 0	0
		R3	予算 222	111		R3	予算 428	230
	HIV/エイズポスター等郵送料	R2	決算 24	12	その他(使用料及び賃借料、謝礼金、負担金等)	R2	決算 138	69
		R3	予算 41	20		R3	予算 245	245

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
17 ① 通常検査・即日検査・夜間検査実施回数	回	118	89
② 上記①にかかる年間経費	千円	2,742	1,533
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	23,237	17,225

備考 (算出についての説明等) ②は検査実施にかかる消耗品費や会場借り上げ料等の合計

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 令和2年度は令和元年度と比較してHIV検査受検者数が大幅に減少した。
 主な要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響により、検査を休止した期間があったことや、外出自粛の意識の高まりにより受検控えがあったものと考えられる。
 要した経費については、これまで業務委託にて実施していた休日の検査を、委託先がなくなった（※検査・相談の技術を有する委託事業者であるNPO法人の解散によるもの）ことで休止しており、大幅にコスト減となったが、休日の検査の機会確保が今後の課題となっている。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 新型コロナウイルス感染症の影響で、感染防止のための検査休止や保健所業務のひっ迫などもありながら、一定の検査機会を確保した。
 また、患者に対する差別や偏見の解消を目的として、検査時の相談や、6月の性感染症予防月間、12月の世界エイズデーに合わせた啓発などで、HIV/エイズに対する正しい知識の普及を進めた。